

仙人通信 157 毛無山(1500 m)・十二ヶ岳(1683 m)

毛無山・十二ヶ岳は、河口湖と西湖の中間に位置する尾根上に位置し、節刀ヶ岳や鬼ヶ岳へと続く前衛の山で、毛無山は三等三角点の山でもある。

河口湖の先にあるトンネルの手前の駐車場から、毛無山→十二ヶ岳→桑留尾に下山し、西湖沿いに駐車場に戻るコースを計画した。しかしトンネル左手前の駐車場は閉鎖中であり、西湖側で探そうとトンネルを抜けると駐車場の表示板だ！。駐車場にある掲示板には、先程の駐車場からの登山口表示だ。作業中の方に尋ねると「墓地の間から尾根に出るコースをと

親切にも先導して下さった。出発から 10 分程で尾根のコースに合流する事ができた。周囲は赤松林であり、5 分程で河口湖の長浜へ下るコースを分ける。河口湖側は、発芽前の唐松や水檜の明るいコースだ。足元ではナガバノスミレサイシンだろうか、散見される。アブラチャンも黄色い花芽を付けている。雉の雄叫びに後押され、40 分程で最初のピークだ。ブルーに輝く河口湖の湖面も見事だ。10 分間隔で 2・3 番のピークも越えられ、咲き始めたエイザンスミレやアゼビの花も可愛い……。20 分程で草地が現れ、右手に白い富士山だ。更に 15 分で毛無山の山頂である。富士山の左手には三国山・山中湖・石割山が、手前には足和田山である。ここからは、一ヶ岳から順番に十二ヶ岳に進むことに成る。尾根道である各ピークの北側は、露出した岩肌の為、滑止用ロープが張られている。岩質は十二ヶ岳火山礫凝灰岩層で脆い岩でもない。六ヶ岳まで 30 分、更に十一ヶ岳まで 30 分である。谷を隔てた右手には、嘗て登った大石峠から節刀ヶ岳へと繋がる尾根のコースだ……。

九・十ヶ岳は岩峰の下を捲く感じで進む。十一ヶ岳からは西湖が眼下に、その先に富士山形の大室山だ。十二ヶ岳との間のキレットへ向けて、運動会の綱引きの様な太く長いロープだ。吊り橋まで、足元を確保しながらの下降である。幸い岩の濡れも無く、滑らずに下降できた。50 m 程降りた所にある長さ 6 m 程の金属製の吊り橋を越え、十二ヶ岳側の岩に取り付く。こちらもロープを手繰っての登りである。なんと十一ヶ岳の山頂からキレットを越え、十二ヶ岳の山頂まで 55 分も要した。山頂からの展望は、360° で濃紺の水を湛えた本栖湖も確認出来た。ただ富士山のみ雲が懸かり残念だ。休憩後、100 m 程戻り桑留尾に向けての下山コースを採る。こちらも 20 分程ロープを頼りのコースだ。水檜の明るいコースから 10 分程ではあるがシラビソの暗い林だ。沢を越えてから明るい赤松の林に戻りホットしていたら、桑留尾とトンネル方向の分岐点である。何と目の前に小さな花びらの富士桜が 1 株咲いており、嬉しさが込み上げた。西湖の北側に沿って走る県道の 50 m 程上の山肌に設けられたコースでは、ヒトリシズカ・ハルリンドウ・ヒカゲスミレが早い春を奏でてくれていた。河口湖では満開の桜の花見も出来た 5 時間半(17700 歩)の山旅でした。(h 29.4. 24)

毛無山山頂からの富士



十二ヶ岳山頂



富士桜

